【参考資料】

資料１ 計画対象地域の地域区分 ・・ P20

資料２ 生息数の推定について（H27 年 12 月公表） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P22

資料３ ヒグマによる人身被害及び農業被害の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P24

資料４ ヒグマの捕獲数・・ P29

資料５ 出没個体の有害性判断フローと段階に応じた対応方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P31

資料６ 渡島半島地域における問題個体数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P33

資料７ 地域における危機管理体制のめざす姿（概念図）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P34

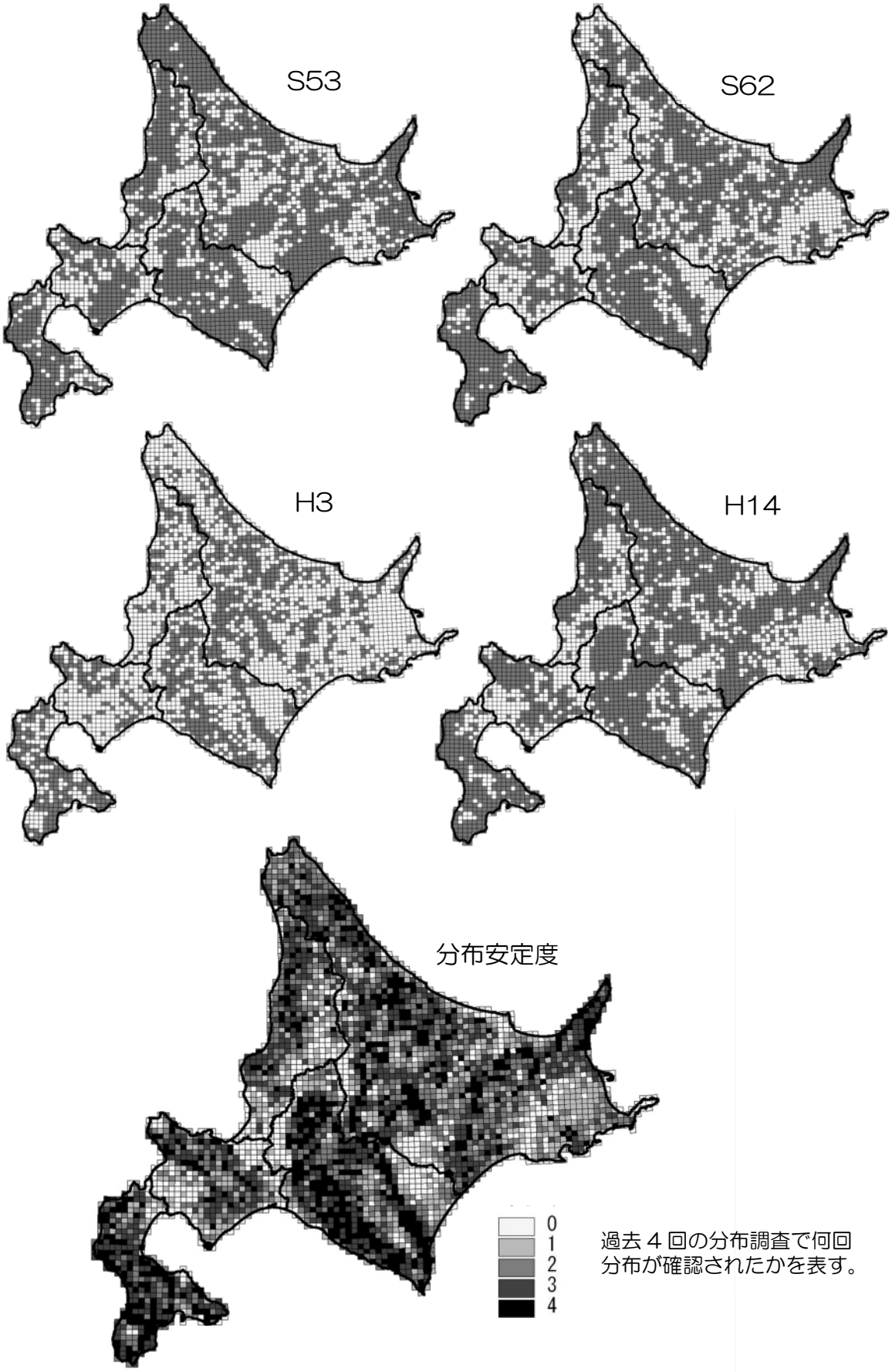
資料８ 年代別狩猟免許所持者数の推移・・・ P35

資料　1

計画対象地域の地域区分

地域		(総合)振興局	市　町　村 (　)は一部地域のみが含まれる市町村
①渡島半島		後志	島牧村、寿都町、黒松内町
		渡島	函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町
		檜山	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、今金町、せたな町
②積丹・恵庭		石狩	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市
		後志	小樽市、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村
		胆振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、白老町、洞爺湖町
③天塩・増毛		空知	深川市、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町
		石狩	石狩市、当別町、新篠津村
		上川	幌加内町、鷹栖町、和寒町、剣淵町、中川町、(旭川市)、(士別市)、(名寄市)、(比布町)、(美深町)、(音威子府村)
		留萌	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町
④道東・宗谷	a 西部	上川	旭川市、士別市、名寄市、富良野市、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、下川町、美深町、音威子府村、(和寒町)、(剣淵町)、(中川町)
		宗谷	稚内市、幌延町、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町
		ｵﾎｰﾂｸ	北見市、紋別市、置戸町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町
		十勝	音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、(足寄町)、陸別町
	b 東部	ｵﾎｰﾂｸ	網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、佐呂間町、大空町(北見市)、(遠軽町)、(湧別町)
		十勝	池田町、本別町、足寄町、(陸別町)、浦幌町
		釧路	釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町
		根室	根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町
⑤日高・夕張		空知	夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、(深川市)
		胆振	厚真町、安平町、むかわ町
		日高	日高町、平取町、新冠町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町
		上川	占冠村、(旭川市)、(富良野市)、(美瑛町)、(上富良野町)、(中富良野町)、(南富良野町)
		十勝	帯広市、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、豊頃町、(新得町)

ヒグマの分布域の推移



資料　2

生息数の推定について（平成 27 年 12 月公表）

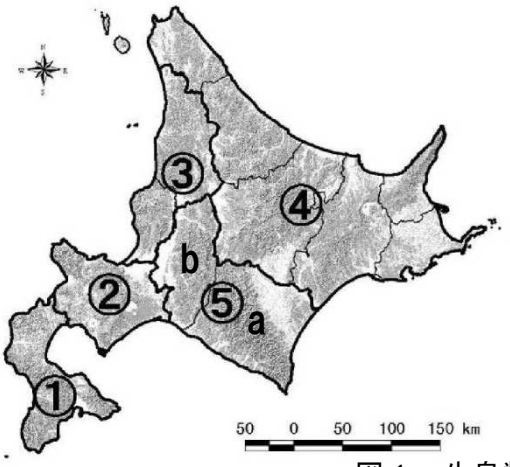
1　推定方法

・北海道ヒグマ保護管理計画に基づく地域個体群を地域単位とし（一部はさらに細区分）（図１）、平成 2 年度から平成 24 年度までの 23 年間の毎年の生息数を推定した。

また、各地域個体群の推定値を合計して全道の推定生息数を算出した。

・生息数は雌雄別捕獲数、出産数及び出産間隔、生存率、生息密度、痕跡発見率など、これまでのモニタリングや調査で蓄積された科学的データを用いた計算機実験（コンピュータシミュレーション）に基づき推定したものであり、北海道のヒグマでは初めて採用した手法である。

・計算機実験は（地独）北海道立総合研究機構環境・地質研究本部が行い、推定値は野生動物や統計学の専門家で構成する北海道ヒグマ保護管理検討会の委員による評価検討を経た結果である。



①　渡島半島
②　積丹・恵庭
③　天塩・増毛
④　道東・宗谷
⑤a　日高・夕張（日高山系）
⑤b　日高・夕張（夕張山地）

図１　生息数推定の地域単位

2　推定結果

・平成 2 年度及び平成 24 年度の全道及び各地域個体群の推定生息数を表 1 に、平成 2～24 年度の全道及び各地域個体群の推定生息数の推移を図 2 に示す。

（１）全道

・平成 24 年度の全道のヒグマ生息数は 10,600 頭±6,700 頭と推定され、平均値でみると平成 2 年度の約 1.8 倍となった（表１）。

・平成 2 年度以降、全道のヒグマ生息数は継続して増加傾向にあった可能性が高いが、下限値の推移をみれば、ほぼ横ばいで推移した可能性も否定できない（図２）。

（２）地域個体群

・平成 24 年度の各地域個体群のヒグマ生息数は、平均値でみると平成 2 年度の約 1.3～3.3 倍となった（表１）。

・平成 2 年度以降、各地域個体群のヒグマ生息数は概ね継続して増加傾向にあったと考えられるが、地域間で推定精度（上限値と下限値の間の幅の広さ）に差があることから、その扱いには注意を要するほか、下限値の推移から、地域によっては増加していない可能性もある（図２）。

・いずれの地域個体群の推定生息数も概ね増加傾向を示したが、より小さい地域単位でみると、生息密度の減少が示されるモニタリング結果もあり、それぞれの地域個体群内における増減の推移は一様ではないと考えられる。

表１．平成2年度及び平成24年度の推定生息数

地域個体群		平成2年度			平成24年度		
		平均値		95%信頼区間	平均値		95%信頼区間
1	渡島半島	1,100	±	200	1,400	±	600
2	積丹・恵庭	300	±	200	800	±	600
3	天塩・増毛	300	±	200	1,000	±	700
4	道東・宗谷	2,300	±	1,000	4,200	±	2,800
5a	日高山系	1,500	±	600	2,800	±	1,600
5b	夕張山地	300	±	100	500	±	300
	全道	5,800	±	2,300	10,600	±	6,700

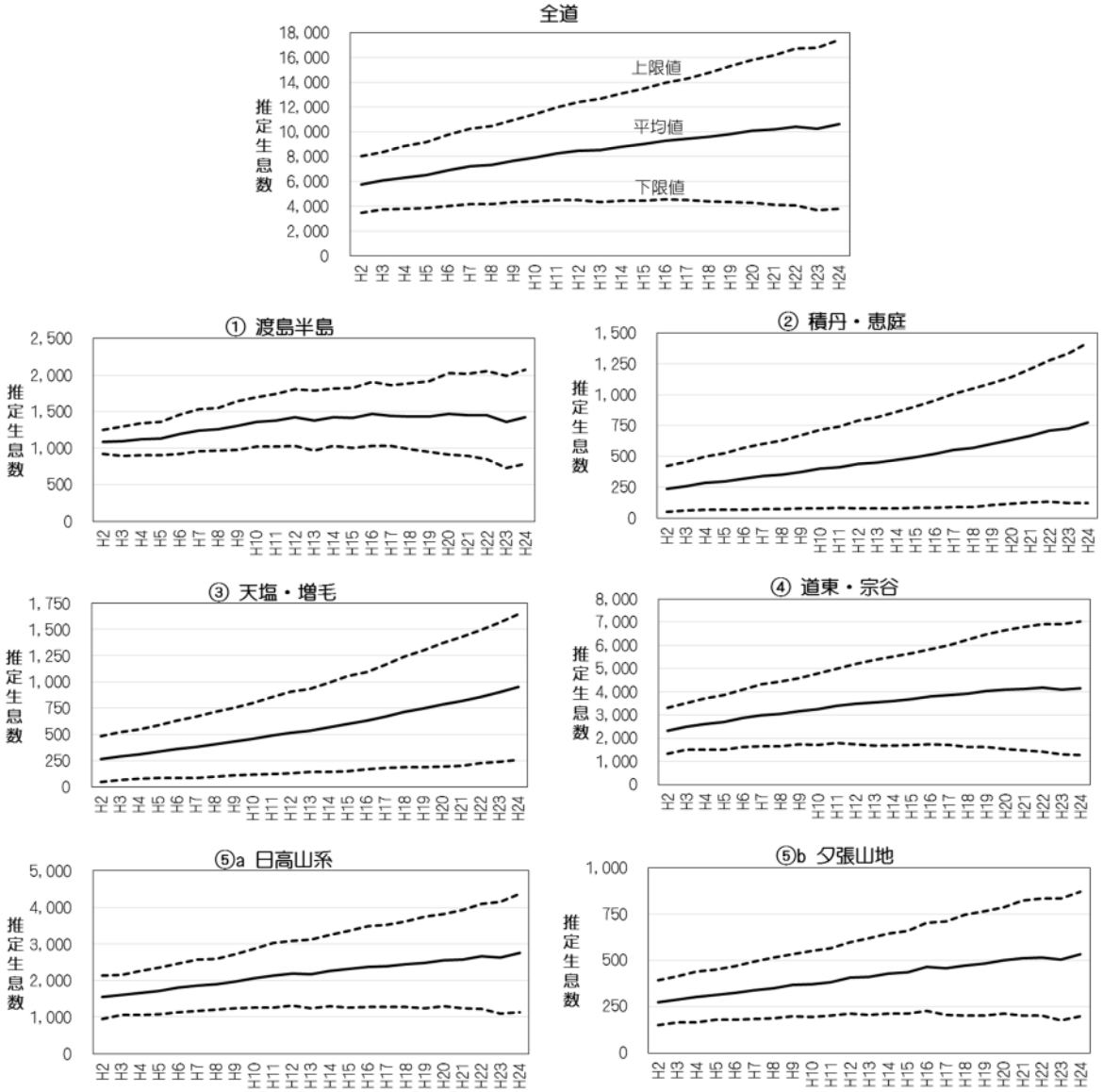


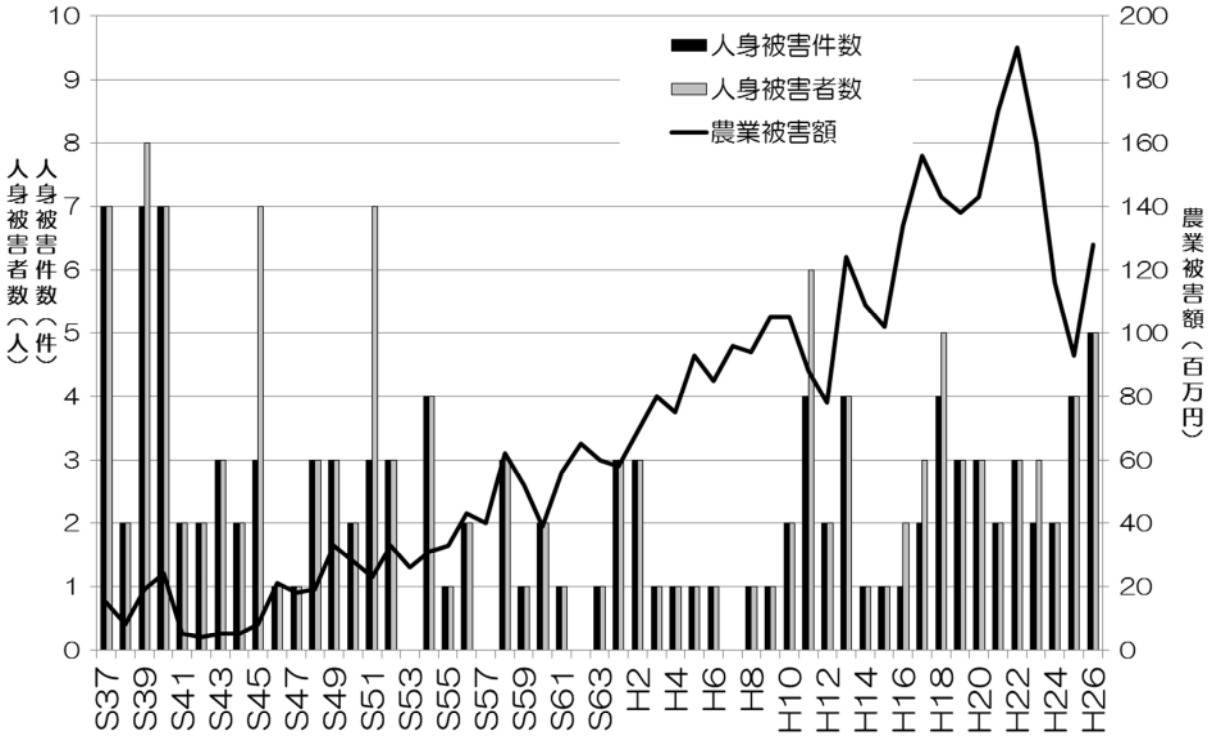
図２　各地域個体群及び全道の平成 2～24 年度の推定生息数の推移。全道の値は、全道域を対象に計算機実験した結果ではなく、①～⑤b の地域個体群の値を合計したもの。

＊表１の全道の数値は、切り上げ（100 頭単位）の関係から各地域個体群の合計と必ずしも一致しない。
＊生息数推定値は幅のある数値であることに注意が必要。例えば平成 24 年度の 10,600±6,700 頭の場合、10,600 頭は平均値を、±6,700 頭はその 95%信頼区間を表しており、推定生息数は 3,900 頭（下限値：10,600-6,700 頭）から 17,300 頭（上限値：10,600+6,700 頭）の間にあることを示している。
＊本結果の推定幅の広さは、用いた科学的データの精度及び量によるものであり、今後のモニタリングデータの蓄積により精度の向上（幅を狭くすること）を図る必要がある。

資料　3

ヒグマによる人身被害及び農業被害の状況

全道の被害発生状況



年度	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58
人身被害者数	7	2	8	7	2	2	3	2	7	1	1	3	3	2	7	3	0	4	1	2	0	3
人身被害件数	7	2	7	7	2	2	3	2	3	1	1	3	3	2	3	3	0	4	1	2	0	3
農業被害額	15	8	19	24	5	4	5	5	8	21	18	19	33	28	23	33	26	31	33	43	40	62

年度	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
人身被害者数	1	2	1	0	1	3	3	1	1	1	1	0	1	1	2	6	2	4	1	1	2	3
人身被害件数	1	2	1	0	1	3	3	1	1	1	1	0	1	1	2	4	2	4	1	1	1	2
農業被害額	52	39	56	65	60	58	69	80	75	93	85	96	94	105	105	88	78	124	109	102	134	156

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人身被害者数	5	3	3	2	3	3	2	4	5
人身被害件数	4	3	3	2	3	2	2	4	5
農業被害額	143	138	143	170	190	160	116	93	128

ヒグマによる人身被害（昭和 37 年以降）

年度	件数	死者	負傷者	死傷者	発生年月日	振興局	市町村	活動内容	性別	年齢	被害程度	加害個体
S37	7	3	4	7	1962.10. 8	網走	雄武町	造材作業	男	５３才	負傷	子連れ
					1962. 9.24	根室	標津町	クマ駆除	男	７３才	死亡	
					1962.10.10	根室	標津町	クマ駆除	男	４０才	負傷	
					1962.10.19	根室	標津町	クマ駆除	男	５１才	死亡	雄６才
					1962.10.20	十勝	浦幌町	クマ駆除	男	７１才	死亡	
					1962.10.25	檜山	北檜山町	放牧点検	女	１９才	重傷	
					1962.11. 1	日高	浦河町	帰宅途中	男	６１才	重傷	
S38	2	1	1	2	1963. 8. 9	宗谷	猿払村	牧場作業	女	３４才	死亡	雄５才
					1963. 8.11	宗谷	浜頓別町	牧場点検	男	５９才	重傷	雄６才
S39	7	5	3	8	1964. 7.20	上川	上川町	登山	男	５０才	死亡	
					1964. 9. 9	日高	平取町	登校中	女	１１才	死亡	
					1964. 9.23	上川	上富良野町	農作業中	女	５２才	重傷	
					1964. 9.25	石狩	札幌市	登山	男	２４才	死亡	
					1964. 9.30	網走	白滝村	クマ駆除	男	６４才	死亡	
									男	２７才	重傷	
					1964.10.25	日高	静内町	クマ狩猟	男	４６才	死亡	
					1964.10.26	十勝	帯広市	クマ狩猟	男	４４才	重傷	雄６才
S40	7	3	4	7	1965. 4.24	上川	愛別町	クマ駆除	男	４４才	重傷	
					1965. 4.25	留萌	初山別村	クマ駆除	男	５７才	軽傷	
					1965. 5. 1	上川	下川町	クマ駆除	男	４６才	死亡	
					1965. 8. 5	宗谷	猿払村	歩行中	女	６５才	重傷	
					1965. 8.22	宗谷	猿払村	飯場へ行く途中	男	５２才	死亡	
					1965. 9.29	渡島	椴法華村	農作業中	女	５７才	負傷	2～3才
					1965.11. 6	網走	清里町	クマ駆除	男	５７才	死亡	２才
S41	2	0	2	2	1966. 5. 3	留萌	小平町	クマ駆除	男	５０才	重傷	10才上
					1966.10.13	檜山	北檜山町	牧場作業	男	３４才	重傷	２才前後
S42	2	1	1	2	1967. 4.19	宗谷	猿払村	クマ駆除	男	４３才	重傷	5～6才
					1967. 5.10	後志	島牧村	農作業中	女	３７才	死亡	
S43	3	2	1	3	1968. 6. 2	上川	南富良野町	川釣り	男	２４才	死亡	雄８才
					1968.11.18	胆振	穂別町	クマ狩猟	男	６５才	死亡	5～6才
					1968.11.21	胆振	穂別町	クマ狩猟	男	６４才	重傷	雄６才
S44	2	2	0	2	1969. 4.20	上川	南富良野町	造材場で昼食中	男	５６才	死亡	雄６才
					1969. 8.28	石狩	千歳市	果実採取	女	７８才	死亡	雌4～5才
S45	3	4	1	5	1970. 7.26	十勝	中札内村	縦走登山	男	１８才	死亡	
									男	１９才	死亡	
					1970. 7.27				男	２０才	死亡	
					1970. 7.27	上川	士別市	笹刈り作業	男	７５才	負傷	3～4才
					1970.12. 5	渡島	八雲町	クマ追跡中	男	４９才	死亡	
S46	1	1	0	1	1971.11. 4	網走	滝上町	クマ追跡中	男	６９才	死亡	雄12才
S47	1	0	1	1	1972. 4. 6	上川	美深町	春クマ駆除	男	４１才	重傷	
S48	3	2	1	3	1973. 5. 2	石狩	当別町	手負クマ追跡中	男	５４才	重傷	
					1973. 5. 6	渡島	木古内町	山菜採り	男	５０才	死亡	雄7～8才
					1973. 9.17	檜山	厚沢部町	造林作業中	男	４５才	死亡	
S49	3	1	2	3	1974. 5.30	檜山	上ノ国町	クマ駆除	男	４４才	負傷	
					1974. 8.16	網走	留辺蘂町	クマ駆除	男	４６才	重傷	
					1974.11.11	網走	斜里町	クマ狩猟	男	３７才	死亡	
S50	2	0	2	2	1975. 4. 8	渡島	長万部町	林内作業中	男	５４才	負傷	
					1975. 7. 1	十勝	浦幌町	林内作業中	女	４０才	負傷	
S51	3	3	4	7	1976. 6. 4	石狩	千歳市	山林作業	男	５６才	負傷	雌４才
					1976. 6. 5			山菜採り	男	５３才	負傷	
					1976. 6. 9				男	５８才	死亡	
									男	５４才	死亡	
									男	２６才	負傷	
					1976.12. 2	上川	下川町	林内作業	男	５６才	死亡	雌12～3才
					1977. 3.31	空知	三笠市	林内作業	男	４５才	負傷	雄６才
S52	3	2	1	3	1977. 4. 7	網走	滝上町	林内作業	男	３９才	負傷	４才位
					1977. 5.27	檜山	大成町	山菜採り	男	５５才	死亡	
					1977. 9.24	檜山	大成町	川釣り	男	３６才	死亡	雌６才
S53	なし											
S54	4	1	3	4	1979. 4.26	宗谷	枝幸町	春グマ駆除	男	６９才	重傷	雌
					1979. 6.14	上川	富良野市	山菜採り	男	３８才	死亡	
					1979. 9.28	檜山	江差町	林内作業	男	７９才	軽傷	
					1980. 2.25	網走	留辺蘂町	林内作業	男	５０才	重傷	雌6～7才
S55	1	0	1	1	1980.10.27	根室	羅臼町	クマ駆除	男	５７才	重傷	雌
S56	2	0	2	2	1981. 5.15	胆振	穂別町	山菜採り	男	４５才	負傷	雌
					1981. 8.18	日高	えりも町	クマ駆除	男	３８才	負傷	雌
S57	なし											
S58	3	0	3	3	1983. 5.19	網走	置戸町	測量作業	男	３４才	重傷	雄５才
					1983. 6. 4	後志	島牧村	山菜採り	男	４８才	重傷	
					1983. 7.11	渡島	八雲町	土木工事	男	３７才	負傷	
S59	1	0	1	1	1984. 8.30	十勝	広尾町	林内作業	男	４９才	軽傷	雌
S60	2	1	1	2	1985. 4.22	根室	羅臼町	春グマ駆除	男	６２才	死亡	
					1985.7.16	渡島	福島町	農作業	女	５９才	負傷	
S61	1	0	1	1	1986. 8.30	網走	斜里町	漁場巡視	男	５９才	負傷	雌
S62	なし											
S63	1	0	1	1	1988. 7. 6	網走	生田原町	林内作業	男	４４才	軽傷	

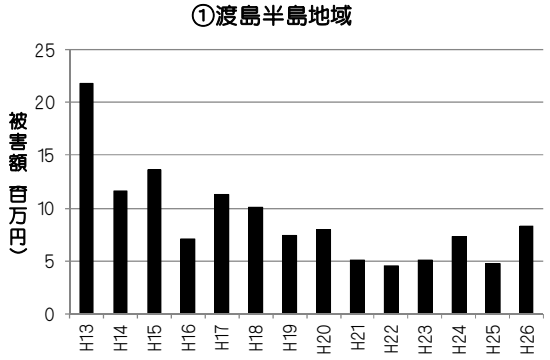
ヒグマによる人身被害（昭和 37 年以降）

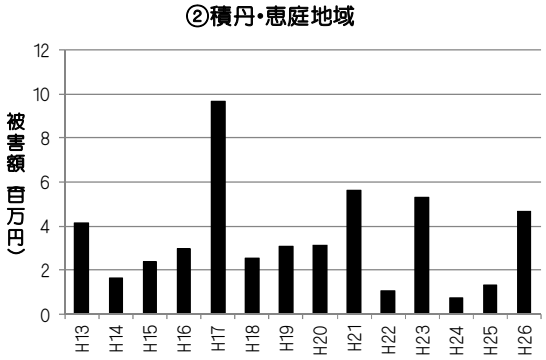
年度	件数	死者	負傷者	死傷者	発生年月日	振興局	市町村	活動内容	性別	年齢	被害程度	加害個体
H元	3	0	3	3	1989.11.15	十勝	広尾町	シカ狩猟	男	５１才	重傷	雌5～6才
					1989.11.25	釧路	弟子屈町	シカ狩猟	男	４０才	重傷	雌
					1990. 3. 7	空知	芦別市	林内作業	男	５２才	軽傷	
H2	3	2	1	3	1990. 9.21	渡島	森町	山菜採り	男	７５才	死亡	雄7才
					1990.10.21	檜山	上ノ国町	生け花用木採取	男	８５才	死亡	
					1990.10.29	網走	紋別市	クマ狩猟	男	５４才	負傷	
H3	1	0	1	1	1991. 5.12	檜山	上ノ国町	山菜採り	男	５８才	負傷	
H4	1	0	1	1	1992.11.17	網走	遠軽町	林内作業	男	５４才	負傷	３～４才位
H5	1	0	1	1	1993.10. 2	渡島	上磯町	狩猟	男	７７才	負傷	
H6	1	0	1	1	1995. 2.13	網走	紋別市	林内作業	男	５１才	負傷	４～５才位
H7	なし											
H8	1	0	1	1	1996. 6. 2	網走	紋別市	山菜採り	男	６０才	重傷	子連れ
H9	1	0	1	1	1997. 8.24	網走	滝上町	クマ駆除	男	６６才	重傷	７才
H10	2	0	2	2	1998.11.23	十勝	新得町	シカ狩猟	男	５１才	負傷	雌
					1998.11.23	釧路	白糠町	シカ狩猟	男	４４才	負傷	雄7～8才
H11	4	1	5	6	1999. 5. 8	渡島	木古内町	川釣り	男	４７才	死亡	同一個体：雄２才亜成獣
					1999. 5.11			山菜採り	女	３９才	負傷	
									女	５０才	負傷	
					1999.10.10	胆振	登別市	山菜採り	男	３１才	軽傷	当歳の可能性
					1999.10.31	釧路	音別町	クマ狩猟	男	６４才	重傷	雄３才
					1999.12.19	網走	紋別市	クマ狩猟	男	５８才	軽傷	雄６才
H12	2	1	1	2	2000.11. 1	釧路	白糠町	シカ狩猟	男	６０才	重傷	雌4～5才
					2000.11.12	日高	平取町	シカ狩猟	男	７３才	死亡	
H13	4	3	1	4	2001. 4.18	釧路	白糠町	山菜採り	女	４２才	死亡	親子（推測）、逃走
					2001. 4.30	留萌	遠別町	山菜採り	男	７０才	重傷	親子（仔明け２歳２頭）
					2001. 5. 7	石狩	札幌市	山菜採り	男	５３才	死亡	雄8～10才
					2001. 5.10	日高	門別町	クマ駆除	男	８１才	死亡	成獣
H14	1	0	1	1	2002. 8.26	上川	南富良野町	被害畑点検	男	７８才	軽傷	成獣
H15	1	0	1	1	2003.11.14	胆振	苫小牧市	クマ駆除	男	６４才	軽傷	オス亜成獣の可能性
H16	1	0	2	2	2004.11.26	日高	新冠町	クマ駆除	男	６７才	重傷	雌6才（仔1頭連れ）
					2004.11.26				男	６５才	軽傷	
H17	2	1	2	3	2005.9.24	釧路	白糠町	キノコ採り	男	７４才	死亡	親子
					2005.10.4	胆振	穂別町	狩猟中	男	５８才	重傷	雌
									男	７１才	軽傷	
H18	4	3	2	5	2006.6.16	日高	新ひだか町	山菜採り	男	５３才	死亡	不明
					2006.10.1	日高	浦河町	キノコ採り	男	７８才	重傷	体長150cm
					2006.10.14	釧路	浜中町	クマ狩猟	男	６２才	死亡	オス10才程度
									男	５９才	死亡	体重２００kg
					2006.10.28	空知	新十津川町	キノコ採り	男	６２才	重傷	不明（小型）
H19	3	0	3	3	2007.8.8	日高	様似町	クマ駆除	男	６８才	重傷	不明
					2007.10.4	渡島	北斗市	キノコ採り	男	６０才	軽傷	小型
					2007.10.13	上川	士別市	クマ駆除	男	５２才	重傷	不明
H20	3	3	0	3	2008.4.6	渡島	北斗市	山菜採り	男	５０才	死亡	オス3才程度 体重70kg
					2008.7.30	渡島	松前町	クマ駆除	男	６７才	死亡	不明
					2008.9.18	根室	標津町	釣（魚採り）	男	５８才	死亡	オス捕獲
H21	2	0	2	2	2009.9.8	日高	新ひだか	クマ駆除	男	７１才	重傷	オス捕獲
					2009.10.30	留萌	苫前町	散歩	男	６６才	重傷	逃走
H22	3	2	1	3	2010.5.22	胆振	むかわ町	山菜採り	男	７３才	死亡	不明
					2010.6.5	十勝	帯広市	山菜採り	女	６６才	死亡	親子　逃走
					2010.12.5	上川	上川町	シカ狩猟中	男	６０歳	重傷	オス捕獲
H23	2	1	2	3	2011.4.12	檜山	上ノ国町	山菜採り	男	６３歳	死亡	不明
					2011.8.24	ｵﾎｰﾂｸ	遠軽町	駆除	男	６１歳	軽傷	ﾒｽ6歳捕獲
									男	６１歳	重傷	
H24	2	0	2	2	2012.9.30	渡島	八雲町	クマ駆除	男	７３才	軽傷	オス3歳　捕獲
					2012.10.27	十勝	足寄町	クマ狩猟	男	６６才	軽傷	
H25	4	1	3	4	2013.4.16	檜山	せたな町	山菜採り	女	５２才	死亡	
					2013.4.29	日高	新ひだか町	山菜採り	男	５３才	重傷	
					2013.9.24	渡島	函館市	山菜採り	男	６３歳	軽傷	親子
					2013.10.14	渡島	福島町	シカ狩猟	男	５８才	重傷	
H26	5	1	4	5	2014.4.4	檜山	せたな町	山菜採り	女	４５才	重傷	オス（H25.4.16と同一個体）
					2014.9.30	ｵﾎｰﾂｸ	滝上町	散歩	男	７６才	重傷	
					2014.10.11	石狩	千歳市	キノコ採り	男	５９才	重傷	
					2015. 1.26	釧路	標茶町	林内作業	男	６４才	死亡	
					2015. 2. 2	釧路	厚岸町	林内作業	男	７４才	重傷	
H27	なし											

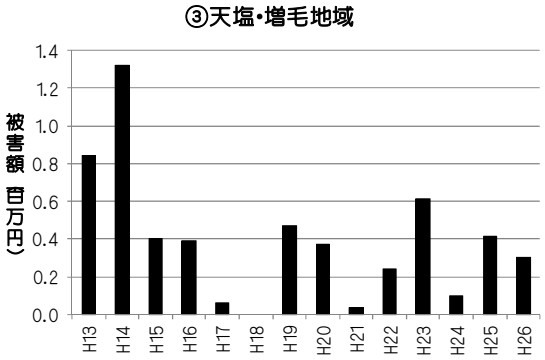
件数	死者	負傷者	死傷者
123	51	85	136

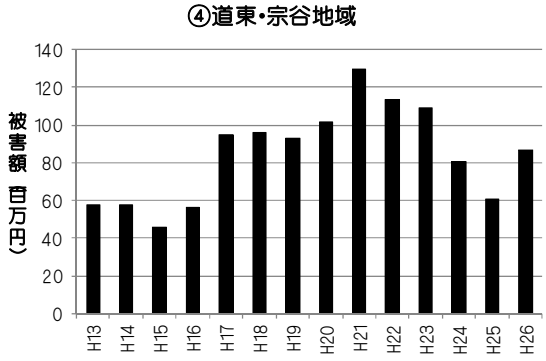
活動内容	被害者数	割合
狩猟・駆除	56	41%
山菜・キノコ採り	33	24%
山林活動	19	14%
農作業	10	7%
登山	5	4%
川釣り	4	3%
その他	9	7%

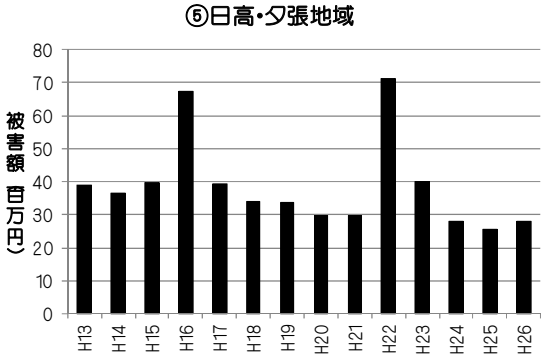
地域個体群別農業被害額











単位：百万円

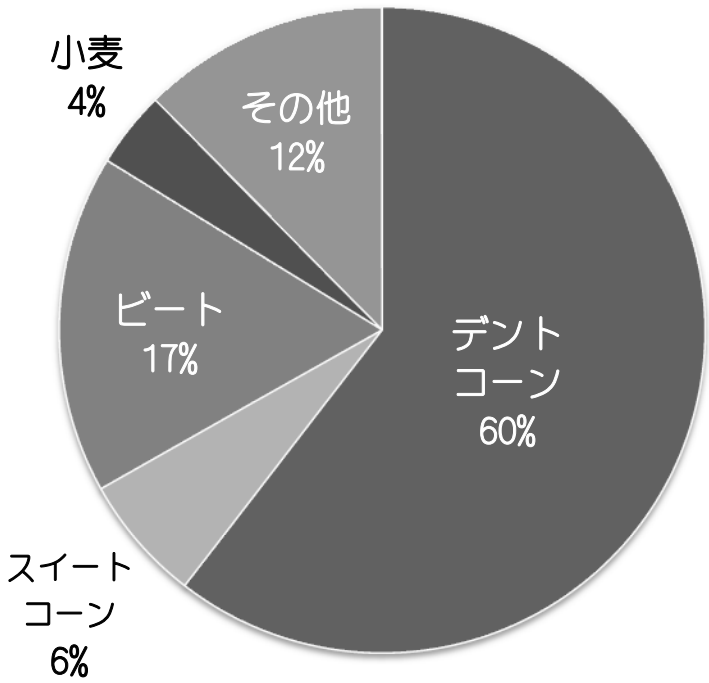
地域	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
①渡島半島	22	12	14	7	11	10	7	8	5	5	5	7	5	8
②積丹・恵庭	4	2	2	3	10	3	3	3	6	1	5	1	1	5
③天塩・増毛	0.8	1.3	0.4	0.4	0.1	0.0	0.5	0.4	0.0	0.2	0.6	0.1	0.4	0.3
④道東・宗谷	58	58	46	56	95	96	93	101	130	114	109	80	61	87
⑤日高・夕張	39	36	40	67	39	34	34	30	30	71	40	28	26	28

作物別被害額

単位：百万円

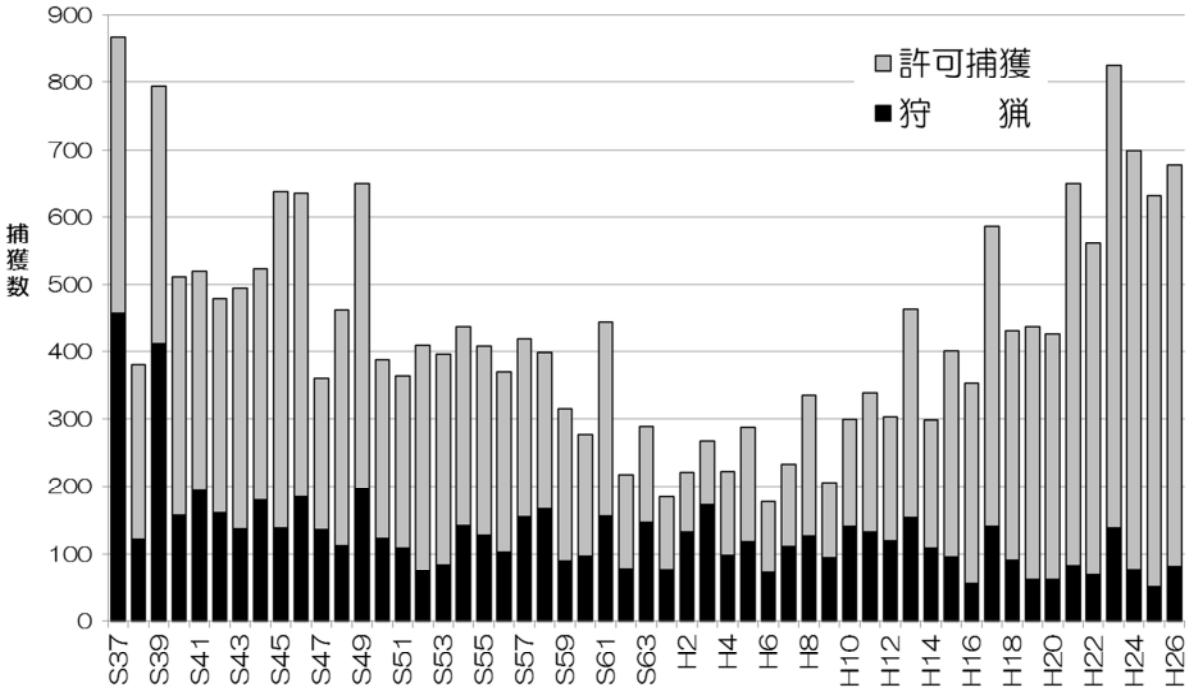
作　物	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
デントコーン	61	61	49	64	68	77	63	75	78	78	62	49	48	77
スイートコーン	15	10	8	6	11	9	14	20	19	20	20	8	15	8
ビート	28	22	20	25	36	36	38	17	25	43	29	25	13	22
小麦	1	3	1	5	13	8	6	14	11	16	15	10	3	5
水稲	2	2	2	2	2	0	2	0	1	0	2	1	1	1
その他	18	11	22	33	26	13	14	16	36	33	32	24	13	14
合　計	124	109	102	134	156	143	138	143	170	191	160	116	93	128

作物別被害額割合（平成26年度）



資料　4

ヒグマの捕獲数



年　　度	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54
狩　　猟	458	121	411	157	194	160	137	179	138	184	136	112	196	123	109	74	84	142
許可捕獲	410	260	383	354	325	319	357	344	500	451	225	351	453	265	255	335	312	295
（割合）	47%	68%	48%	69%	63%	67%	72%	66%	78%	71%	62%	76%	70%	68%	70%	82%	79%	68%
計	868	381	794	511	519	479	494	523	638	635	361	463	649	388	364	409	396	437

年　　度	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9
狩　　猟	128	103	155	167	89	97	156	78	146	76	132	173	98	118	72	111	126	94
許可捕獲	280	267	264	231	226	180	289	139	143	108	89	94	124	169	105	122	210	112
（割合）	69%	72%	63%	58%	72%	65%	65%	64%	49%	59%	40%	35%	56%	59%	59%	52%	63%	54%
計	408	370	419	398	315	277	445	217	289	184	221	267	222	287	177	233	336	206

年　　度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
狩　　猟	141	132	119	154	109	95	55	140	91	61	61	82	68	138	77	51	81
許可捕獲	158	207	184	310	189	306	299	447	339	375	365	567	493	688	622	581	596
（割合）	53%	61%	61%	67%	63%	76%	84%	76%	79%	86%	86%	87%	88%	83%	89%	92%	88%
計	299	339	303	464	298	401	354	587	430	436	426	649	561	826	699	632	677

地域個体群別

【区分別】

地域	区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	割合
①渡島半島	狩猟	13	9	13	13	29	10	3	2	7	10	11	8	4	2	9%
	許可捕獲	93	66	80	103	158	76	77	70	144	138	153	96	83	98	91%
	計	106	75	93	116	187	86	80	72	151	148	164	104	87	100	
②積丹・恵庭	狩猟	2	1	1	0	5	0	0	1	0	1	4	1	3	3	19%
	許可捕獲	7	2	5	7	4	7	0	0	5	3	19	9	17	9	81%
	計	9	3	6	7	9	7	0	1	5	4	23	10	20	12	
③天塩・増毛	狩猟	2	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	10%
	許可捕獲	3	3	1	2	2	7	10	8	10	4	13	5	13	8	90%
	計	5	5	2	3	2	7	10	8	10	5	14	5	14	9	
④道東・宗谷	狩猟	54	50	36	19	66	47	30	41	33	27	57	39	30	41	17%
	許可捕獲	120	80	111	114	146	137	166	177	273	203	285	323	283	297	83%
	計	174	130	147	133	212	184	196	218	306	230	342	362	313	338	
⑤日高・夕張	狩猟	83	47	44	22	40	34	28	17	42	29	65	29	13	34	22%
	許可捕獲	87	38	109	73	137	112	122	110	135	145	218	189	185	184	78%
	計	170	85	153	95	177	146	150	127	177	174	283	218	198	218	
全道	狩猟	154	109	95	55	140	91	61	61	82	68	138	77	51	81	17%
	許可捕獲	310	189	306	299	447	339	375	365	567	493	688	622	581	596	83%
	計	464	298	401	354	587	430	436	426	649	561	826	699	632	677	

【雌雄別】

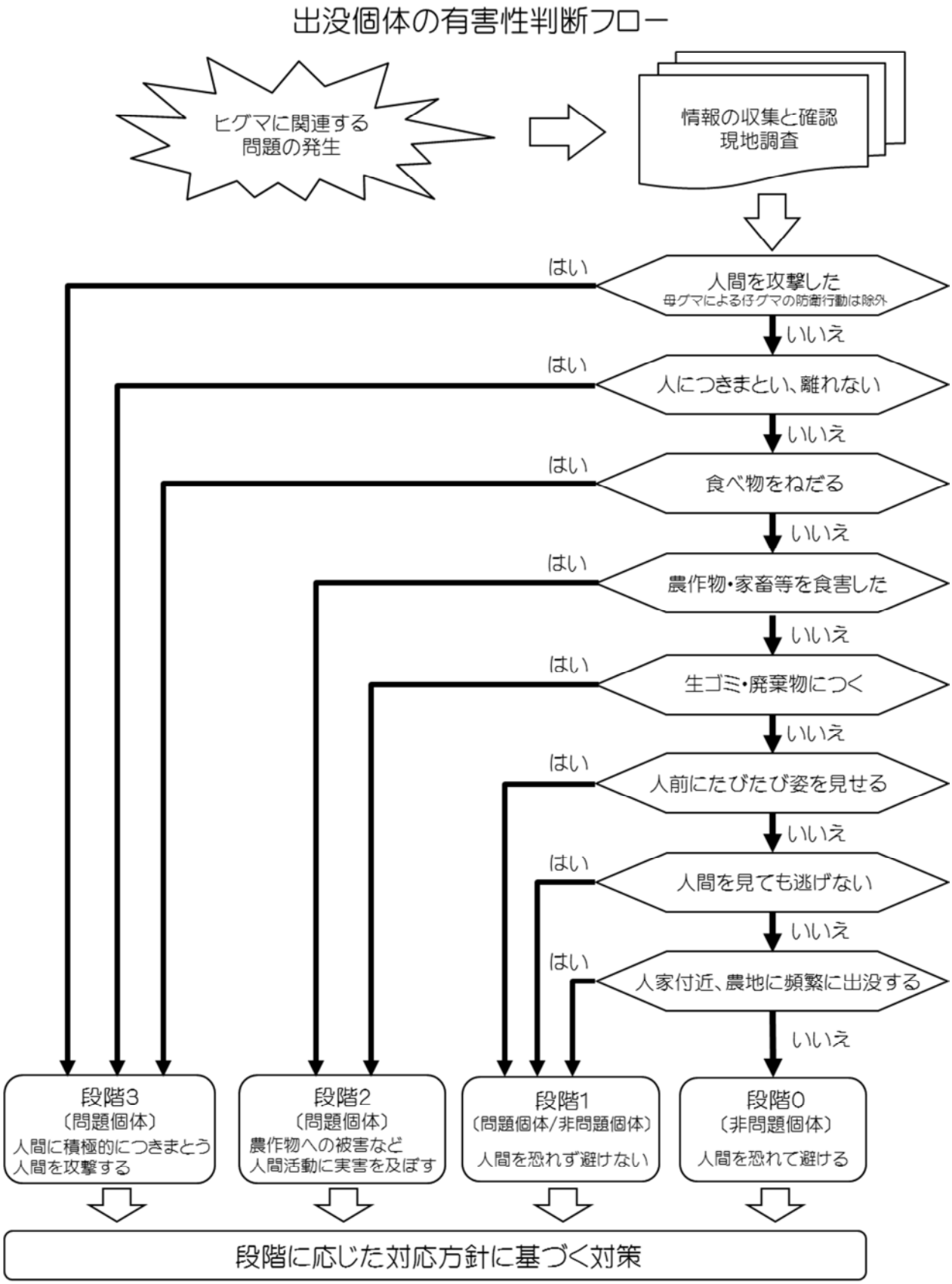
地域	区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	割合
①渡島半島	オス	57	44	54	78	121	67	55	49	101	95	104	74	64	75	66%
	メス	49	31	38	38	66	19	25	23	49	53	58	30	23	23	34%
	不明			1						1		2			2	
	計	106	75	93	116	187	86	80	72	151	148	164	104	87	100	
②積丹・恵庭	オス	5	2	5	6	9	4	0	1	5	4	17	9	17	8	79%
	メス	4	1	1	1	0	3	0	0	0	0	6	1	3	4	21%
	不明															
	計	9	3	6	7	9	7	0	1	5	4	23	10	20	12	
③天塩・増毛	オス	4	5	2	2	2	6	7	5	8	4	12	5	10	7	79%
	メス	1	0	0	1	0	1	3	3	2	1	2	1	4	2	21%
	不明															
	計	5	5	2	3	2	7	10	8	10	5	14	6	14	9	
④道東・宗谷	オス	98	91	103	98	142	122	132	147	210	160	223	205	216	226	66%
	メス	75	39	44	35	68	62	64	71	91	69	117	156	95	111	34%
	不明	1				2				5		2		2	1	
	計	174	130	147	133	212	184	196	218	306	229	342	361	313	338	
⑤日高・夕張	オス	102	57	106	68	113	102	104	90	119	111	154	135	120	134	65%
	メス	66	26	45	27	60	44	46	37	58	60	123	82	76	81	35%
	不明	2	2	2		4					3	6		2	3	
	計	170	85	153	95	177	146	150	127	177	174	283	217	198	218	
全道	オス	266	199	270	252	387	301	298	292	443	374	510	428	427	450	66%
	メス	195	97	128	102	194	129	138	134	200	183	306	270	201	221	34%
		3	2	3	0	6	0	0	0	6	3	10	0	4	6	
	計	464	298	401	354	587	430	436	426	649	560	826	698	632	677	

【許可捕獲の猟法別】

地域	区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	割合
①渡島半島	銃	54	24	26	35	64	30	20	31	57	56	50	44	38	50	40%
	わな	39	42	54	68	94	46	57	39	87	82	103	52	45	48	60%
	計	93	66	80	103	158	76	77	70	144	138	153	96	83	98	
②積丹・恵庭	銃	5	0	4	3	0	1	0	0	1	1	6	5	13	1	43%
	わな	2	2	1	4	4	6	0	0	4	2	13	4	4	8	57%
	計	7	2	5	7	4	7	0	0	5	3	19	9	17	9	
③天塩・増毛	銃	2	3	1	2	2	7	5	1	3	4	3	1	9	1	49%
	わな	1	0	0	0	0	0	5	7	7	0	10	4	4	7	51%
	計	3	3	1	2	2	7	10	8	10	4	13	5	13	8	
④道東・宗谷	銃	87	43	63	67	85	76	92	85	126	116	141	188	149	172	55%
	わな	33	37	48	47	61	61	74	92	147	87	144	135	134	125	45%
	計	120	80	111	114	146	137	166	177	273	203	285	323	283	297	
⑤日高・夕張	銃	41	14	48	33	65	44	35	46	60	62	72	79	88	89	42%
	わな	46	24	61	40	72	68	87	64	75	83	146	110	97	95	58%
	計	87	38	109	73	137	112	122	110	135	145	218	189	185	184	
全道	銃	189	84	142	140	216	158	152	163	247	239	272	317	297	313	47%
	わな	121	105	164	159	231	181	223	202	320	254	416	305	284	283	53%
	計	310	189	306	299	447	339	375	365	567	493	688	622	581	596	

資料　5

出没個体の有害性判断フローと段階に応じた対応方針



〔判断した有害性の段階に応じた対応方針〕

<table>
<tr><th rowspan="2">有害性段階</th><th colspan="3">対応方針</th></tr>
<tr><th>市街地</th><th>農耕地</th><th>森林地帯</th></tr>
<tr><td>共　通</td><td colspan="3">出没個体及び出没状況の情報収集（必要に応じて現地調査）
出没情報及び被害防止のための注意事項等の住民周知</td></tr>
<tr><td rowspan="2">段階０
〔非問題個体〕</td><td>経過観察。
必要に応じ人身被害防止措置の実施。</td><td>経過観察。
必要に応じ人身被害防止措置の実施。</td><td>経過観察。
必要に応じ人身被害防止措置の実施。</td></tr>
<tr><td colspan="3">出没が継続する場合は「判断フロー」に戻る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">段階１
〔問題個体/
非問題個体〕</td><td>経過観察。
必要に応じ人身被害防止措置及び追い払いの実施。
出没が継続し、地域の生活に支障のある場合は捕獲。</td><td>経過観察。
必要に応じ農業被害防止措置及び追い払いの実施。
出没が継続し、地域の生活に支障のある場合は捕獲。</td><td>経過観察。
必要に応じ人身被害防止措置及び追い払いの実施。
出没が継続し、地域の生活に支障のある場合は捕獲。</td></tr>
<tr><td colspan="3">問題が解決しない場合は「判断フロー」に戻る。</td></tr>
<tr><td>段階２
〔問題個体〕</td><td>人身被害防止措置の実施。
問題個体の確実な排除。</td><td>農業被害防止措置の実施。
問題個体の確実な排除。</td><td>人身被害防止措置の実施。
問題個体の確実な排除。</td></tr>
<tr><td>段階３
〔問題個体〕</td><td colspan="3">人身被害防止措置の実施
問題個体の確実な排除</td></tr>
</table>

○　人身被害防止措置の内容
- 見回り（銃器携帯）
- 警察機関への通報
- 地域住民、入林者等への周知（情報周知のための看板設置等）
- 誘引物の除去
- 対策本部の設置

○　農業被害防止措置の内容
- 見回り（銃器携帯）
- 誘引物の除去（農業系廃棄物の撤去、農作物の早期収穫等を含む）
- 電気柵の設置

資料　6

渡島半島地域における問題個体数の推移

ヒグマと人間とのあつれきは、全てのヒグマによって引き起こされるものではなく、人慣れした個体や農作物等に執着するようになった個体によるものが多くを占めていると考えられる。これら問題を発生させる個体「問題個体」の数は、あつれきの程度及び保護管理の進捗状況を評価する指標として利用できる。

渡島半島地域では、市町村の協力を得て、ヒグマ出没時にはその都度、出没日時や出没場所などの情報を記録しており、その情報を用いて北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センターが問題個体の頭数の推定を行っている。

ここでは、渡島半島地域のうち、条件が整っている一部地域における 2001 年度から 2014 年度までの間の、問題個体数の推定結果を示す。

〔対象地域〕11 町村

後志総合振興局：黒松内町、寿都町、島牧村　　渡島総合振興局：森町、七飯町

檜山振興局：江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、今金町、せたな町

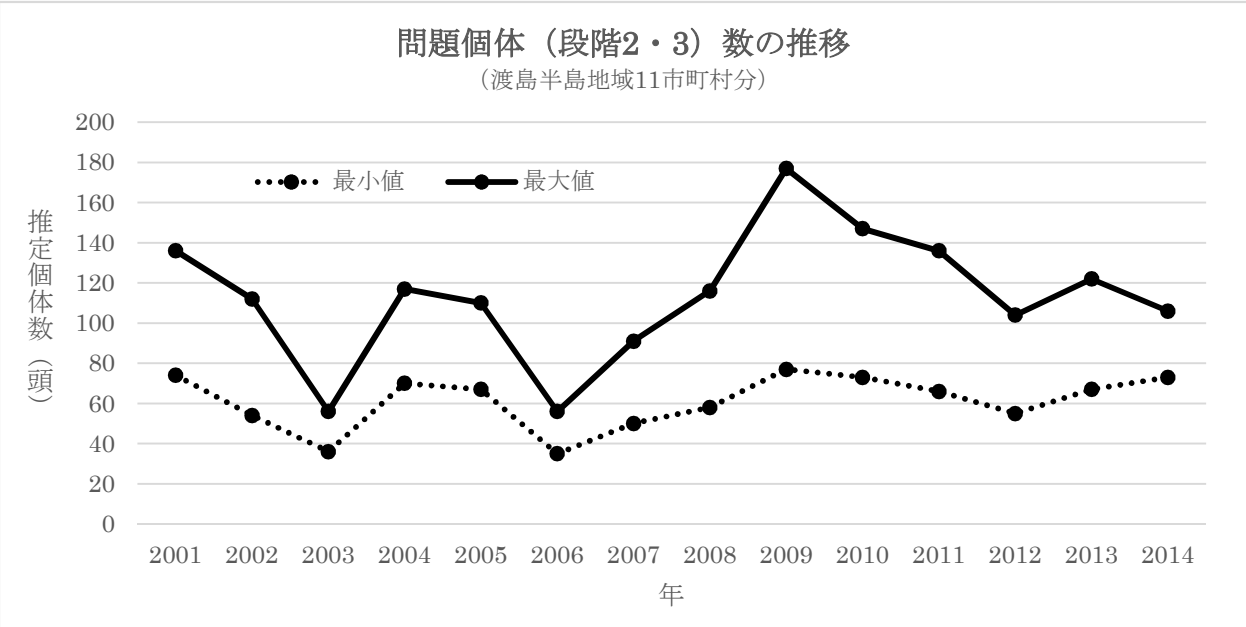
〔推定方法〕

問題個体数の推定値は、出没年月日や出没地点等を考慮し、一定の条件を満たすものを同一個体と見なすことで算出する。「同一個体と見なす」方法には、出没情報間の日数差が近い方を優先する方法と、距離が近い方を優先する方法との 2 通りがあるが、ここでは日数差が近い方を優先する方法を採用した。

みなし同一個体の判定の際、別の個体の情報を同一個体のものとしてみなしてしまう可能性があることから、同一個体と見なす条件を厳しくした「最大値」と条件をゆるくした「最小値」の 2 つの数値を示した。

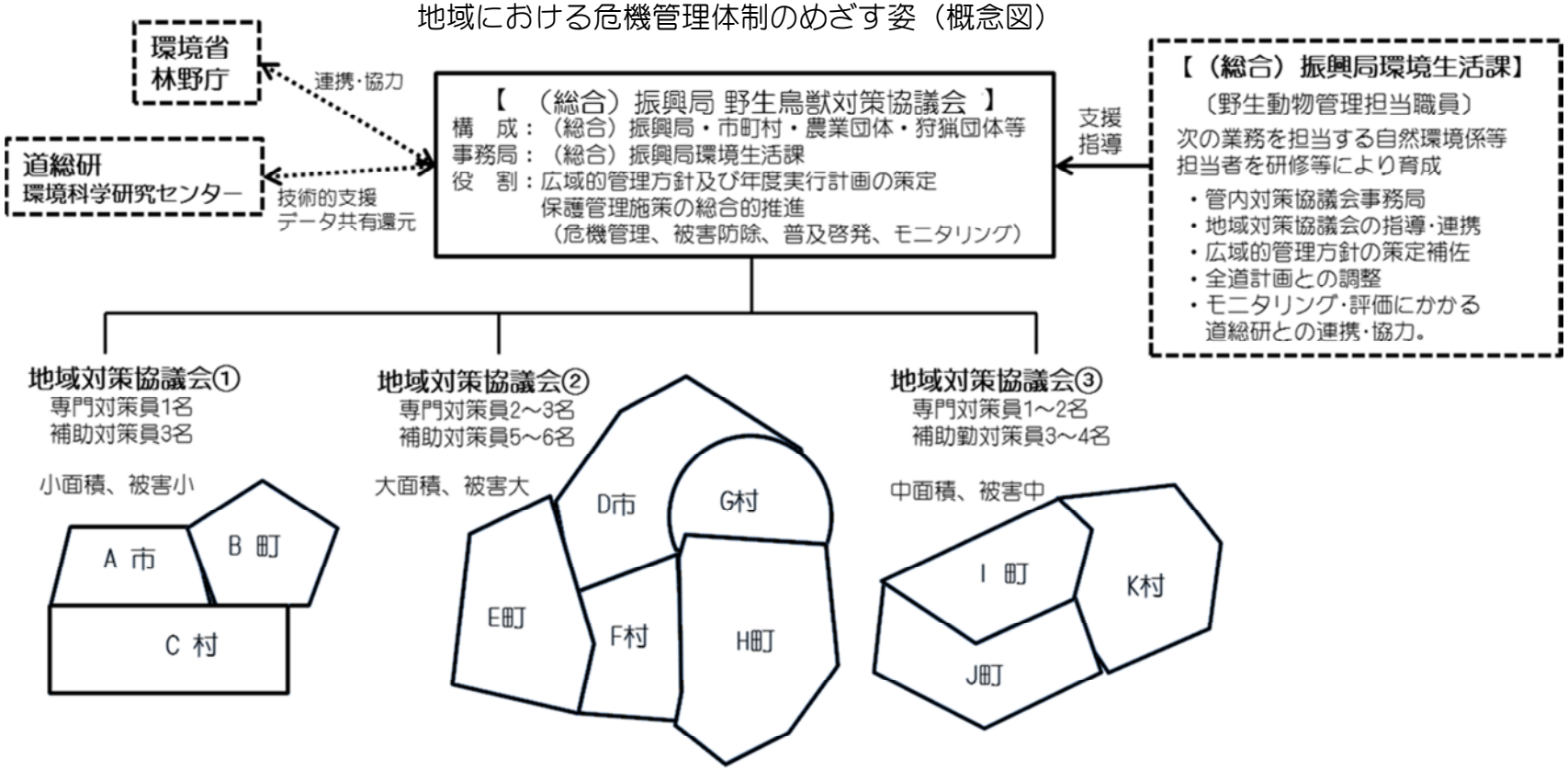
ここでいう問題個体は、有害性の段階が 2 ～ 3 （P11 表 2 ）の個体である。段階 1 の個体の一部も問題個体に含まれるが、現在の情報収集方法や整理方法では段階 1 のうち問題個体/非問題個体の判断が困難である。また、段階 1 もしくは 0 と判断される情報も多い。これらのことから、「段階 1 の中の問題個体と非問題個体」および「段階 1 と 0」を峻別できる仕組み作りが今後の課題である。

なお、今回示した結果については暫定値であり、今後、数値が変更する可能性がある。



資料　7

地域における危機管理体制のめざす姿（概念図）

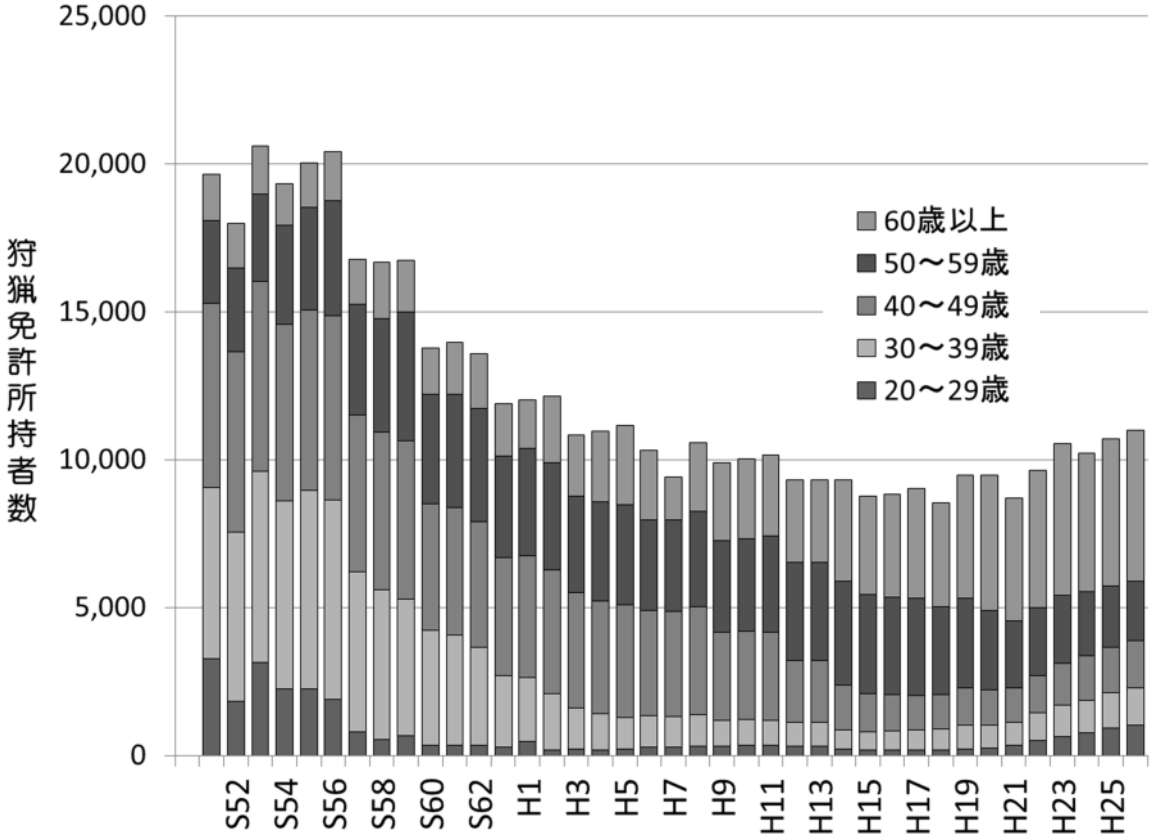


【地域対策協議会】　※ヒグマ生息状況及び社会的環境に基づく地域単位（複数市町村）に設置

構　成：市町村、農業団体、狩猟団体等
専門員：専門対策員、補助対策員
運営費：市町村支出金、道補助、特措法交付金等
役　割：地域野生鳥獣管理方針の策定
地域の総合的ヒグマ対策の実行
危機管理、被害防除、野生鳥獣個体数管理
野生鳥獣等に関するモニタリング
希少野生生物の保護　など
その他：NPO法人化による人員雇用の可能性を検討
猟友会の状況により捕獲事業主体への移行を検討

（専門対策員）
・野生動物対策を指導し、地域の猟友会などと連携して現場業務にあたる者
・野生動物管理学・生態学の専門的教育を受けた者
・銃器・ワナなど野生動物に対応する技術の訓練を受けた者
・地域社会の中で受け入れられる社会常識を身に付け、コーディネーターとしての訓練を受け、地域社会の抱えるさまざまな問題解決に対する熱意を有する者

（補助対策員）
・ヒグマをはじめとする野生鳥獣捕獲に関する高度な技術と経験を有する者

資料　8

年代別狩猟免許所持者数の推移